

だ十分に育っていない。そのためビッグデータ分析の器は用意されたものの、ビジネスに貢献する効果的な分析を実現できず、せっかく「ビッグデータロボ」を導入しても結果を出せないことになる。これは技術ではなく、人的スキルに起因する問題であるため、簡単には解決できない。

そこでWatsonが、業界・業種・目的・データ種別など多種多様な要因を考慮しつつ、効果的なデータ分析手法をアドバイスする。データ分析初心者にはQ&Aに基づき標準化手法を、熟練者には多段階の解析手法や解析事例を引用した回答を提示。データと目的をインプットすれば、Watsonが自動分析し、回答する。将来的には、Watsonをデータサイエンティストそのものとして機能させ、現場業務やマーケティングの担当者などがWatsonと対話しながら、分析を進めることにもなるかもしれない。

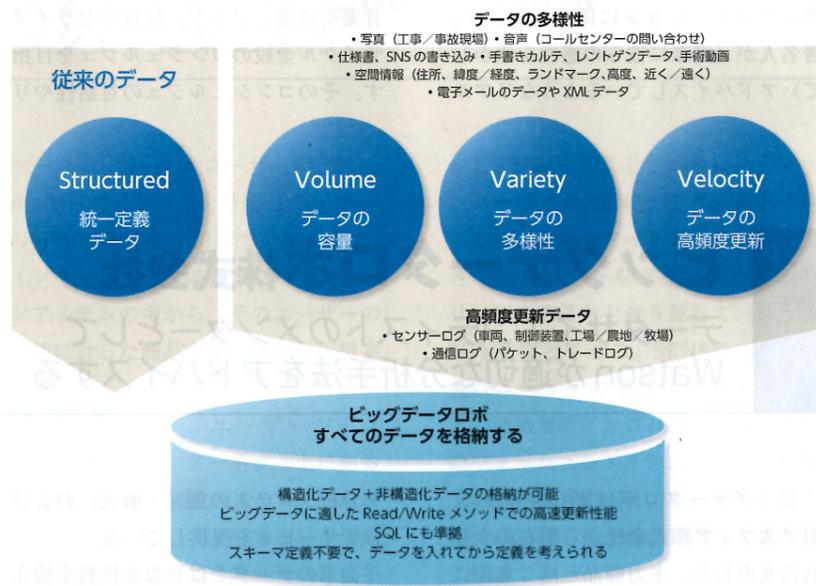
同社では今後、データサイエンティ

ストとクライアント企業をマッチングする「データサイエンティストバンク」という新サービスをスタートさせるが、これにもWatsonを利用できない

か検討を進めるといふ。

データサイエンティスト・メンターとしてのWatsonの活躍に注目したい。

図表2 ビッグデータロボの特徴



株式会社FiNC

モバイルヘルス+Watsonで
ユーザーの美容・健康上の悩みに合った最適解を提供

FiNC (フィンク) は、「モバイルヘルスに特化したテクノロジー・ベンチャー」(代表取締役社長の溝口勇児氏)である。3年前の2012年4月に創業し、昨年(2014年)、複数のベンチャー・キャピタルから出資を受けて資本金を500万円から2億1150万円に増資し、大きな話題となった。「当社のビジネスは、ユーザーから血液や遺伝子、生活習慣などの生体情報と、体重・歩数・活動量・睡眠といっ

たライフログのデータを得て、それらを複合的に分析して、その人に合った健康についての情報を提供することです。そのために、常勤の医師や薬剤師、管理栄養士、トレーナーとエンジニアらがチームを組み、Webやスマートデバイスなどのテクノロジーを使って、ユーザーにパーソナルな情報をお届けすることに取り組んでいます」(溝口氏)

スマホアプリを通して60日間、専

属のダイエット専門家から痩身・健康に関するノウハウを学ぶことができる「FiNCダイエット家庭教師」や、インストラクターや管理栄養士などの健康指導従事者向けにヘルスケア関連業務を受発注するクラウド・ソーシングサービス「FiNCダイエット家庭教師」や、管理栄養士やインストラクター向けに健康指導情報を提供する「FiNCオンラインワークス」、社員の健康管理をサポートする法人向けの「ウェル

ネス経営ソリューション」などを提供するほか、遺伝子・血液の検査サービスやプライベートジム事業などもスタートさせている。

その同社が、2016年初旬のサービスインを目指して現在開発中なのが「FiNC SNSサービス」(仮称)で、そこにWatsonを適用する計画である。

「FiNC SNSでは、これまでの生体情報やライフログ情報に加えて、ユーザーから、チャットの内容や購買、店舗の利用などの活動履歴も収集し、その一方で、ウェルネスに関連する栄養学やスポーツ学の論文や、位置情報などの情報も収集して蓄積します。そしてそれらの膨大なデータから、ユーザーの美容・健康上の悩みに合った最適解を抽出し、提供するのがFiNC SNSです。提供する情報は、ウェルネスのためのプログラム、癒しのためのツアー情報、サプリなどさまざま。

Watsonは、その膨大なデータを解析するエンジンとして期待しています」と溝口氏は説明する。

Watsonに着目した理由について同社CTOの南野充則氏は、「文章に強い」点を挙げる。「SNSでユーザーから取得するデータと、社外および社内から収集する情報は、テキストデータの形で蓄積するので、Watsonが威力を発揮すると見ています」(南野氏)

たとえば、ユーザーの生体情報や食事内容、活動履歴などの情報と、FiNCがもつ膨大なウェルネス情報とを突き合わせてWatsonで解析することにより、「コンビニに立ち寄るなら、ビタミンCが豊富で100カロリー未満のA食品を、Cのタイミングで食べましょう」といったピンポイントのアドバイスが可能になるという。

ユーザーからのデータは、当面はユーザーの手入力に頼るが、「ゆくゆ



溝口 勇児氏
代表取締役社長



南野 充則氏
CTO

くはウェアラブル端末や体重計などと連携し、ユーザーが気づかないうちに自然な活動の中で取得できることを目指しています」と南野氏。

FiNC SNSは無料のサービス。スタート1年で「最底100万ユーザーが目標」という。Watsonへの期待は高い。

図表3 FiNC SNSの概要

